



## 2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月15日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東  
 コード番号 2931 URL http://www.euglena.jp/  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）出雲 充  
 問合せ先責任者（役職名）取締役副社長（氏名）永田 暁彦（TEL）03(3454)4907  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年9月期第2四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	6,081	△12.1	△360	—	△137	—	△143	—
2019年9月期第2四半期	6,919	△3.6	△6,523	—	△6,356	—	△6,456	—

（注）包括利益 2020年9月期第2四半期 △147百万円（-％） 2019年9月期第2四半期 △6,457百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	△1.55	—
2019年9月期第2四半期	△71.59	—

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	16,116	10,717	66.4
2019年9月期	17,199	10,834	62.9

（参考）自己資本 2020年9月期第2四半期 10,696百万円 2019年9月期 13,246百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2020年9月期の連結業績予想は、上半期における事業進捗および足元の成長機会を踏まえ、下半期に広告宣伝および販売促進活動への投資を機動的に実施していく方針であること、ならびに新型コロナウイルス感染拡大の今後の影響が依然不透明であることから、現時点において適切な予想値を開示することは困難な状況であるため未定としております。詳細につきましては、2020年5月15日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	92,928,322株	2019年9月期	92,928,322株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	56,459株	2019年9月期	89,749株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	92,848,942株	2019年9月期2Q	90,189,170株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度は、ヘルスケア事業においては、セグメント損益は引き続き黒字維持を見込む一方で、広告宣伝投資の比重を、これまで注力してきた直販事業における新規顧客獲得施策から、素材認知拡大や企業ブランディングなどのマーケティング施策にシフトしていく方針であり、このためセグメント売上高は減少を見込んでおります。また、エネルギー・環境事業においては、2018年10月に竣工したバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラント（以下「実証プラント」）の本格稼働、そしてバイオジェット燃料による有償フライトの実現に向けた取組みにより、セグメント損益は赤字が継続する見込みです。以上の結果、当連結会計年度の通期業績予想は、売上高は前期比で減少を見込むとともに、営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する純損益のいずれも赤字を見込んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、概ね計画どおりの進捗であり、ヘルスケア事業において新規顧客獲得のための広告宣伝投資の見直しに着手した結果、売上高は6,081,922千円（前年同期比12.1%減）となりました。また、エネルギー・環境事業において実証プラントの本格稼働に向けた準備を進めていることで、同事業のセグメント損失349,899千円を計上しており、営業損失は360,133千円（前年同期は営業損失6,523,892千円）、経常損失は137,600千円（前年同期は経常損失6,356,077千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は143,576千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失6,456,575千円）となりました。

なお、前第2四半期連結会計期間から当第2四半期連結会計期間までの各四半期の業績推移は以下のとおりです。

	前第2四半期 連結会計期間	前第3四半期 連結会計期間	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間	当第2四半期 連結会計期間
売上高（千円）	3,487,407	3,526,338	3,522,207	3,219,103	2,862,819
営業損益（千円）	△65,955	△184,041	△752,209	△244,341	△115,791
経常損益（千円）	65,662	△2,692	△714,655	△216,393	78,793

セグメント別の状況については、以下のとおりです。

## (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業においては、減少基調が継続しているユーグレナ食品領域を重点強化領域と位置づけ、短期的な売上成長・利益確保は追求せず、ユーグレナ食品の素材プロモーション、企業／素材／商品ブランド間の連携強化、事業基盤整備等に投資比重をシフトすることで、持続的な成長を目指しております。

当第2四半期連結累計期間は、直販チャンネルにおいて、期初からの新規顧客獲得のための広告宣伝投資の見直しを継続し、投資採算管理体制の確立と不採算投資の撤廃が完了したほか、定期購入顧客の継続率改善に向けて、3か月・6か月の有期間の定期購入サービスの利用促進を進めました。また、中長期的な事業成長に必要な素材認知と企業ブランドの確立に向けたマーケティング施策の準備を進め、2020年3月に「ユーグレナの緑汁」や「飲むユーグレナ」などの既存の主力食品商品群を、新たなユーグレナ食品ブランド「からだにユーグレナ」としてリニューアルいたしました。

以上の結果、セグメント売上高6,071,690千円（前年同期比11.7%減）、セグメント利益は442,943千円（前年同期比23.8%減）となりました。

## (エネルギー・環境事業)

エネルギー・環境事業においては、バイオジェット・ディーゼル燃料開発を中心に、2018年10月に竣工した実証プラントの本格稼働に向けた準備を進めております。研究開発活動については、2019年11月に、伊藤忠商事株式会社とともに、バイオ燃料用と飼料用の微細藻類ミドリムシの海外培養実証事業を、インドネシア共和国に続き、コロンビア共和国においても開始しました。また、三重県多気郡多気町において、燃料用微細藻類の大規模、低コスト生産技術の確立を目指す研究開発活動を実施しております。

当第2四半期連結累計期間は、2020年1月にバイオジェット燃料の製造技術の国際規格であるASTM D7566規格の新規格の取得の完了を発表し、バイオジェット燃料の製造・供給に向けた準備および関係各所との協議を進めております。また、2020年3月にいすゞ自動車株式会社とともに、次世代バイオディーゼル燃料の完成と燃料供給開始を発表しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、セグメント売上高は10,231千円（前年同期比75.0%減）、実証プラントの本格稼働に向けた準備費用の計上等により、セグメント損失349,899千円（前年同期はセグメント損失6,672,603千円）となりました。なお、前年同期は実証プラントの建設費用6,370,841千円を研究開発費として全額費用計上しており、前年同期比において、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失は縮小しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は16,116,889千円となり、前連結会計年度末と比較して1,082,559千円の減少となりました。

負債は、主に未払金及び未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末から965,776千円減少し、5,399,291千円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により、前連結会計年度末から116,782千円減少し、10,717,598千円となりました。この結果、自己資本比率は66.4%となりました。

当連結会計年度は、ヘルスケア事業において、新規顧客獲得のための広告宣伝投資の見直しに伴う売上高の減少を見込む一方で、エネルギー・環境事業において、実証プラントの本格稼働に伴う運転資金の支出が予定されておりますが、十分な手元資金を確保していることから事業の進捗に重要な影響はありません。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から679,680千円減少し、7,112,119千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失125,405千円の計上、仕入債務の減少134,907千円、未払金の減少236,831千円等により、284,610千円の支出となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出89,086千円等により、79,409千円の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済234,238千円等により、184,684千円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度につきましては、ヘルスケア事業においては、広告宣伝投資の採算管理の厳格化、中長期的な事業成長に必要な素材認知と企業ブランドの確立、ならびにCRM強化やデジタルマーケティングの活用などの事業基盤の整備への取組みに、エネルギー・環境事業においては、実証プラントの本格稼働、そしてバイオジェット燃料による有償フライトの実現に向けた取組みに注力する方針を推進し、上半期において着実な進捗を達成しております。

当第2四半期連結会計期間より新型コロナウイルスの感染が国内で拡大し、今後の当社グループ事業への影響については不透明性があるものの、消費者における外出自粛による通販需要の拡大や、健康意識の向上による健康食品需要の拡大といったトレンドは、主力事業として通信販売や健康食品販売を展開する当社グループに対する絶好の成長機会であると判断しております。

当社グループとしては、上半期において、直販チャンネルにおける広告宣伝投資の採算管理体制の導入や有期間定期顧客割合の増加による定期購入継続率の改善が進んだこと、ならびに主力の健康食品ラインアップをユーグレナ食品ブランド「からだにユーグレナ」としてリニューアルし、素材や商品の認知拡大に向けたマーケティング施策を展開する体制が整ったことを踏まえ、下半期においては、厳格な採算管理体制を維持した上で、固定的な投資予算額は設定せずに広告宣伝および販売促進活動への投資を機動的かつ積極的に実施してまいります。

以上の背景から、2020年9月期の連結業績予想については、広告宣伝および販売促進活動への投資進捗により業績が変動しうること、ならびに新型コロナウイルス感染拡大の今後の影響についても依然不透明であることから、2019年11月8日に公表した2020年9月期の通期連結業績予想を一旦取り下げて「未定」とし、適切な業績予想が開示可能となった時点で改めて公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,832,985	7,112,119
受取手形及び売掛金	1,078,143	898,188
商品及び製品	1,110,256	985,953
仕掛品	53,343	73,122
原材料及び貯蔵品	874,341	969,048
その他	242,810	445,982
貸倒引当金	△8,556	△8,663
流動資産合計	11,183,325	10,475,751
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,035,798	3,043,793
機械装置及び運搬具	1,434,113	1,472,542
工具、器具及び備品	384,956	390,053
土地	900,520	900,520
リース資産	28,201	25,994
建設仮勘定	6,967	3,723
減価償却累計額	△2,200,734	△2,376,230
有形固定資産合計	3,589,824	3,460,397
無形固定資産		
のれん	1,112,546	1,036,893
その他	536,085	489,561
無形固定資産合計	1,648,632	1,526,454
投資その他の資産		
投資有価証券	430,788	313,802
差入保証金	254,988	253,939
繰延税金資産	14,977	7,788
その他	76,911	78,755
投資その他の資産合計	777,665	654,286
固定資産合計	6,016,122	5,641,137
資産合計	17,199,448	16,116,889

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	379,734	245,089
短期借入金	470,843	470,289
未払金	939,644	672,770
リース債務	647	346
未払法人税等	241,886	43,078
賞与引当金	39,760	33,932
ポイント引当金	43,236	30,162
その他	354,257	357,570
流動負債合計	2,470,008	1,853,239
固定負債		
長期借入金	3,190,385	2,956,691
リース債務	315	170
退職給付に係る負債	16,168	15,785
資産除去債務	410,280	410,330
繰延税金負債	272,874	158,728
その他	5,035	4,346
固定負債合計	3,895,059	3,546,051
負債合計	6,365,067	5,399,291
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,318,148	7,318,148
資本剰余金	11,880,107	2,224,243
利益剰余金	△8,224,708	1,262,732
自己株式	△150,597	△94,737
株主資本合計	10,822,948	10,710,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,374	△1,485
為替換算調整勘定	△10,143	△12,665
その他の包括利益累計額合計	△11,517	△14,151
新株予約権	15,219	15,219
非支配株主持分	7,730	6,144
純資産合計	10,834,380	10,717,598
負債純資産合計	17,199,448	16,116,889

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	6,919,125	6,081,922
売上原価	1,858,381	1,701,515
売上総利益	5,060,744	4,380,407
販売費及び一般管理費	11,584,636	4,740,541
営業損失(△)	△6,523,892	△360,133
営業外収益		
受取利息	525	488
助成金収入	127,677	212,868
受取手数料	10,500	10,500
持分法による投資利益	11,454	—
その他	26,448	30,397
営業外収益合計	176,605	254,254
営業外費用		
支払利息	6,117	6,069
持分法による投資損失	—	25,627
その他	2,672	24
営業外費用合計	8,789	31,721
経常損失(△)	△6,356,077	△137,600
特別利益		
新株予約権戻入益	490	—
固定資産売却益	1,231	365
持分変動利益	—	12,856
特別利益合計	1,722	13,221
特別損失		
関係会社株式評価損	—	1,027
特別損失合計	—	1,027
税金等調整前四半期純損失(△)	△6,354,355	△125,405
法人税、住民税及び事業税	119,004	124,706
法人税等調整額	△13,402	△106,900
法人税等合計	105,601	17,805
四半期純損失(△)	△6,459,956	△143,211
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,381	364
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,456,575	△143,576



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純損失(△)	△6,459,956	△143,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△554	△111
為替換算調整勘定	3,331	△3,740
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△732
その他の包括利益合計	2,777	△4,584
四半期包括利益	△6,457,179	△147,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,455,477	△146,210
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,701	△1,586

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△6,354,355	△125,405
減価償却費	290,638	269,776
のれん償却額	180,671	75,653
実証製造設備の研究開発費計上額	6,370,841	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△136	6
賞与引当金の増減額(△は減少)	△955	△5,827
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,817	△383
受取利息及び受取配当金	△604	△545
助成金収入	△127,677	△212,868
新株予約権戻入益	△490	—
支払利息	6,117	6,069
持分法による投資損益(△は益)	△11,454	25,627
売上債権の増減額(△は増加)	304,847	180,329
たな卸資産の増減額(△は増加)	△150,528	10,296
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,884	△134,907
未払金の増減額(△は減少)	△2,038	△236,831
関係会社株式評価損	—	1,027
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,231	△365
持分変動損益(△は益)	—	△12,856
その他	213,915	△197,974
小計	704,857	△359,179
利息及び配当金の受取額	604	103,825
利息の支払額	△4,273	△2,953
助成金の受取額	45,907	186,770
法人税等の還付額	156,296	—
法人税等の支払額	△23,379	△213,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	880,014	△284,610
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△46,103	—
定期預金の払戻による収入	—	42,329
有形固定資産の取得による支出	△1,290,377	△89,086
有形固定資産の売却による収入	1,313	854
無形固定資産の取得による支出	△25,342	△35,148
投資有価証券の清算による収入	15,362	—
差入保証金の差入による支出	△4,129	△8
その他	3,084	1,649
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,346,192	△79,409
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△240,284	△234,238
リース債務の返済による支出	△528	△446
株式の発行による収入	3,787,090	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	50,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,546,278	△184,684
現金及び現金同等物に係る換算差額	△726	1,290
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,079,373	△547,414
現金及び現金同等物の期首残高	4,426,943	7,791,799
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△132,266
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,506,317	7,112,119

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年12月20日開催の第15期定時株主総会において、欠損補填を目的とする資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について決議し、2019年12月20日を効力発生日として資本準備金9,655,863千円を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替えました。

また、会社法第452条規定に基づき、その他資本剰余金9,655,863千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損補填いたしました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本準備金2,224,243千円、利益剰余金1,262,732千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,878,218	40,907	6,919,125	—	6,919,125
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,878,218	40,907	6,919,125	—	6,919,125
セグメント利益又は損失(△)	581,107	△6,672,603	△6,091,496	△432,396	△6,523,892

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△432,396千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,071,690	10,231	6,081,922	—	6,081,922
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,071,690	10,231	6,081,922	—	6,081,922
セグメント利益又は損失(△)	442,943	△349,899	93,044	△453,177	△360,133

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△453,177千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。